

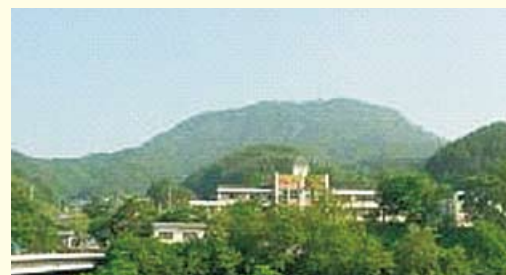
虚空蔵山での体験活動を通して 地域を大切にする思いを育む

長野県松本市立 中川小学校

6年 大平杏奈・川久保拓也・中島鈴香

学校紹介

松本市の北部に位置し、東京芸術大学の小松敏夫教授による設計で建てられました。三角屋根の時計台が目印で、周りを緑に囲まれています。6月には「誠求の道大学」という行事があり、地域の方や専門の方が講師となり、学校ではなかなか学ぶことのできないことを教えてもらいます。9月には「虚空蔵ふれあいデー」という行事があり、学校のうらにある「虚空蔵山」にのぼり、下草刈りやネイチャーゲームをします。11月の「中川まつり」という児童会行事では、各学年の出し物を全校で楽しめます。私たちは、中川の自然にめぐまれた環境の中で生活しています。



活動場所の紹介

中川小学校の学校林活動は昭和の初期から行われていました。昭和18年には大規模な植林が行われ、以後も数年おきに下草刈り、枝打ち作業、補植作業が行われ、薪や基地作り、道作りなどの活動をしてきました。昭和50年頃からは全校で秋の遠足（虚空蔵山登山）と林間活動を行うようになり、昭和55年にはみどりの少年団が結成され、さらに森林活動に積極的に参加するようになりました。

現在行われている「虚空蔵ふれあいデー」は、学校の大きな行事となっており、全校で学校林へ出かけ、下草刈りや間伐など学校林の世話をみんなでい、大事に守ってきています。



今後の夢、希望、活動計画など

学校を取り巻く環境として山林が多いため、地域に森林活動に携わったり関心をもっている人がとても多いです。24年度の閉校後、学校林をどうしていくのか、は大きな課題となっていますが、今後森林学習に加えて、地域の学習や植物の様子などについても詳しく教えていただいたり、児童の家族の方々にも多く集ってもらえるような企画をしたりして、学校を離れても地域の森林を大切にしたい、ずっと守っていききたい、という思いがもてるようにしていきたいです。



活動のテーマ

虚空蔵山での体験活動を通して 地域を大切にする思いを育む

学校名 松本市立中川小学校

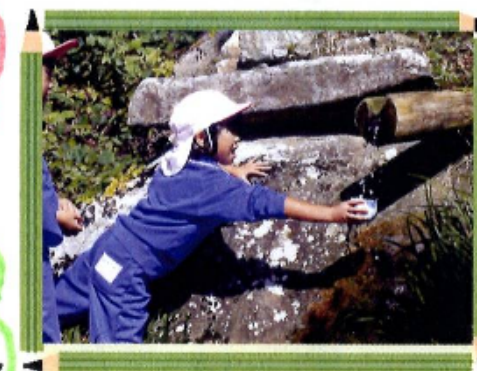
発表者 大平杏菜 中島鈴香 川久保拓也

<活動の様子>



階段の木が
入るように
ちゃんとほろう！

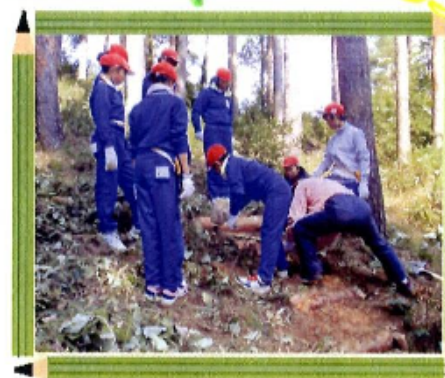
簡単に
こわれないように
じょうぶに作ろう！



山の水は冷たくて
おいしいな！

くそぞう山が
きれいになると
いいな！

大工さんにな
った気分で、
木を切ろう！



自然の中の全校活動

長野県松本市立 会田小学校

5年 坪田大一・真田悠暉

学校紹介



標高 1139 m の虚空蔵山のふもとに会田小学校があります。



殿村遺跡：戦国時代には会田氏がこの地を治めていました学校付近では東日本最古級の石垣が出土しました。

総合的な学習の時間：『会田っ子タイム』で1年間学習したことをまとめ、全校・保護者の皆さんに発表します。緊張するけど、みんなに聞いてもらえてうれしいです。



活動の紹介



『赤松』がよく育つように、下草刈りをします。春の学有林作業で刈った枝は、秋に拾いにいきます。



『仲良しデー』：この日は、1～6年生で協力して仲よく昼食づくり。外では、拾ってきた薪で火をおこします。この火で1時間ほど煮込んだカレーは、とってもおいしくなります。



おわりに

会田小学校の校歌にも歌われている虚空蔵山は、昔から地域の方々が大切にしてきた山でした。私たちも、学有林作業や『仲良しデー』、遠足などの行事を通して、この山の自然とふれ合い、関わり合って1年間を過ごしています。これからも、山がもたらしてくれる恵みや自然の美しさを感じながら、学有林での活動に取り組んでいきたいと思ひます。

自然の中の 全校活動

＜長野県松本市立会田小学校 5年 坪田大一・真田悠暉＞

学校のみんなで、がんばっていること

美化委員を中心に花だんのデザインを考え、花の世話としています。学校は花がいっぱい。また、学年ごと花を植えたプランターを老人福祉施設や支所・銀行などに7月～9月にかけて送っています。
・会田っ子タイム：総合の時間に(川)について(米作り)エコ活動などテーマにそって年間調べたことをまとめて2学期の多読日に保護者と全校に発表します。

会田の自然とぼく

春は雪がとけ、山草花がいっぱい咲き出します。北アルプスの雪山が青い黄色い花畑のようになっていきます。夏は水田に稲の緑が広がります。ぼくも学校にうそをいって、トモ、キウリ、ズッキーニを育てたり学校近くの会田川、校庭のそばに生虫や植物を観察したりします。秋は、四賀特産の松茸やキノコがとれます。毎年給食で松茸ご飯が出たりもしています。自宅からながめる冬の北アルプスは白く一面雪に覆われています。そんな景色が楽しめる四賀の里がぼくにあっていいです。学有林作業では村木であるアカマツに光が当たるように下草がりと行っています。村の人達も下草がりをしてアカマツを育てています。みんなが手に入れた貴重なアカマツと松茸を大切にしたいです。



仲良しデー

学有林作業で取ってきたまきを使います。仲良しデーは1年生から6年生で班になり、お昼ごはんを作ったり、レクをしたりして1日をすごします。

各クラスでは、エンジンセッタでまきで火をおこしたり、みんなこいし事を分かんします。最初は小さい火だけどまきをどんどん入れていくと、大きくなります。おなべがぐつぐつになって、おいしくなります。みんなでおしゃべりして、いただきます。みんなで食べているとおもしろいです。



学有林整備

森をきれいにするぞ



学校から、くそやう山のふもとにある、学有林まで歩いて行きます。春は4年生と6年生が行きます。ぼくたちは、去年行ってきました。木業課の方に「くさか、赤いのかい。うるしだよ。それをさねるとかぶれてしまうので、気を付けて下さい。」と教えてもらいました。一本一本の木がぐんぐんと育つように森をきれいにしました。帰りはみんなへとへとでした。秋には3年生と5年生が今年仲良しデーで使ったまきを取って来ます。春の下草がりはとても大変だったけど、森をきれいにすることができてうれしかったです。